

## ▶ 必修科目の紹介

ライフデザイン学科には大きく分けて3種類の科目があります。必修科目、選択必修科目、選択科目です。ここでは、その中から、入学したての1年生が必ず受ける必修科目から2つを紹介します。

### 「社会を知る」 ～「社会人」へのパスポート～

短大では、1年生が終わるところから就職活動が始まります。企業の説明会や面接では、世の中のことをどこまで分かっているかが、さっそくチェックされます。たとえば「TPPについて、あなたの意見は?」「少子高齢化の時代を、どう考えますか?」。まさに大人の質問に、しっかりと自分の言葉で答えることが求められるのです。

でも、高校を卒業したての学生たちは、「政治や経済の固い話はよく分からない…どうしよう…」と不安でいっぱいです。そんな学生たちに、世の中の成り立ちや仕組み、世界の動きなどをわかりやすく学んでもらうのが、この「社会を知る」という科目です。学生たちが関心を持つ日々のニュースや話題も授業の題材です。だから「いま」の社会の動きが、とてもよく分かるようになります。担当は、NHKで長年、ニュースを伝え続けて来たジャーナリストの教員です。映像もたっぷり使って、わかりやすく教えます。

入学したばかりの1年前期に「現代社会の基礎知識」を学ぶことで、世の中がとてもよく見えるようになり、自分の進むべき道も、はっきりと見えてきます。この授業で「社会人へのパスポート」を手にすることができ、自信を持って就職活動に臨めるようになります。



### 「色彩の科学」 ～「色をもっと身近に」生活を豊かにする色の理解～



大学生になると日頃からファッションにこだわるが多くなります。また、就職活動においては、自分を良く見せる色をリクルートウェアにワンポイント加えるだけで、相手の印象が違ったものになります。上手なコーディネートを身につければ全く違った人生が見えてくるのです。そんな手助けとなるのが、色の原理を学び、コーディネートなどの応用力を身につけられる「色彩の科学」という科目です。担当するのは、大手化粧品会社宣伝部出身で、フリーのデザイナーとしてファッション業界やデパートなどの宣伝広告に携わってきた教員で、実践的な学びができます。また、色彩はファッションに限らず、ブライダル、フード、インテリア、グラフィック

・Webデザインなど、ライフデザイン学科で学ぶさまざまな分野に関係していて、この科目で学んだ知識が就職する際に大きなアドバンテージになります。デザインや企画などの職種はもちろん、販売職では商品陳列などに、ビジネス系の職種でもプレゼンテーション資料作成などに役立ちます。また、食事をしたり、風景を楽しんだり、私たちの生活にも色が大きな役割を果たしており、色を理解することで、私たちのいろいろな生活の場面をさらに豊かにしてくれます。ぜひ、この科目で色と親しんでください。

